

労働者派遣法改悪案を廃案へ！

採決強行のたくらみを阻止しよう！

明日 (6月9日・火) 18:00～

18:00～ 新宿西口街頭宣伝、

18:00～ 労働弁護団緊急院内集会

(参議院議員会館 101会議室)に参加を！

衆議院厚生労働委員会で行われている労働者派遣法改悪案の審議が大きな山場を迎えようとしています。新聞報道によれば維新の会が与党の意を受けて厚生労働委員会での採決に応じる動きがあるということです。

厚生労働委員会では先日明らかになった「年金」情報の大量流出問題によって派遣法審議がストップしたままとなっており、政府与党が必至に根回しを行って審議再開、採決の強行を狙ってきました。しかし、野党や日弁連や労働弁護団、私たち労働組合の「派遣法改悪はワーキングプアを更に拡大する」「派遣労働者を生涯低賃金に縛り付ける」という粘り強い反対行動の中で審議が進まず、三度目の廃案へと追い込まれようとしてきました。こうした中で、強引に野党の一部を取り込み政府・財界の意を実現させようとしているのです。決して許されることではありません。政府は何故これほどまでに労働者が反対する法改悪を労働者の声を聞こうともせず、与党議員の数を頼りに国会を私物化して強行しようとするのでしょうか。経済財政諮問会議に居座る竹中平蔵を会長に据えているパソナなど大手派遣会社、口入れ業の利益追求と低賃金・使い捨て労働者を利益の源泉と考える企業の要請に他なりません。

今、安倍政権は日本を根底的に転換させようというのです。「日本を取り戻せ」と、戦争ができる為には労働者国民には我慢を求めようというのです。次には8時間労働時間制の破壊、過労死促進・残業代ゼロ法案を成立させようとしています。労働法制改悪を全力で阻止しよう。戦争法案を阻止しよう！

衆院厚労委の傍聴・抗議行動へ参加を！

6月10日(水) 12:00～13:00 衆議院第二議員会館前

6月12日(金) 12:00～13:00 衆議院第二議員会館前

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動

国会前集會に結集しよう！

★6月14日(日) 14:00～ ★6月24日(水) 18:30～

6月4日(木)開かれた衆議院憲法審査会で参考人として意見陳述を求められた3人の憲法学者は政府が提案している戦争法案について揃って「憲法違反である」と陳述しました。3人には自民党が推薦した長谷部早大教授も含まれています。すべての学者は安倍首相がもっとも忌み嫌う「立憲主義」を逸脱していることを厳しく批判したのです。

安倍首相が云う、「戦後レジームからの脱却」とは立憲主義を確立した現平和憲法と、そのもとで培われてきた戦後民主主義を否定しようというものである。そして祖父である岸晋介が願った普通の国、即ち、国軍を持ってアメリカと一緒に戦争ができる国、戦前の国体を再構築したいというのであろう。「積極的平和主義」と云い、戦争する為の法律を平和安全法制と言いくるめ、自民公明の与党が多数を握る現在の国会情勢の間に実現させようというのでしょうか。

安倍首相は国会審議の議論に真摯に対応しないばかりか、首相自ら低俗なヤジを飛ばし、国会を軽視しても開き直すことしか知らない状態をつくりだしている。安倍首相は労働者・国民ばかりか、意に沿わなければ憲法学者の声も無視して1人悦に入るばかりです。そして自衛隊員の生命を危険にさらすばかりか、戦後70年間、日本は戦争に参加せず、外国の人々を殺さず、日本人も殺されることなく、平和国家として世界から信頼されてきた歴史を軍靴で汚そうとしているのです。

5月3日、横浜で35,000人の人々が集い、いま連日、国会を包囲して「戦争反対！」を訴える闘いが続いています。日本各地でも「戦争反対」と大規模な集會が開かれています。更に闘いを大きく広げ、戦争法案を葬り去ろう。安倍首相を即刻退陣に追い込もう！

戦争させない・9条壊すな！
総がかり行動
戦争法案反対国会前集會

6月14日(日) 14:00～15:30
6月24日(水) 18:30～20:00
場所 国会議事堂周辺

**とめよう戦争法、
集まろう国会へ。**



(主催)戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会